

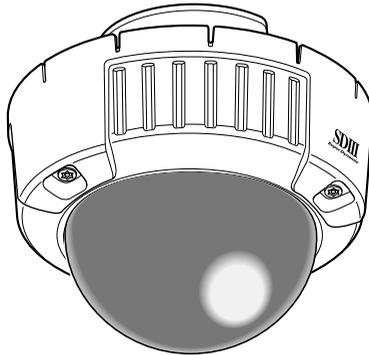
Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番 WV-CW484F



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(6ページ~7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機は1/3型CCDを搭載したカラーテレビカメラです。ビデオ受像機に接続し、監視カメラとして使用します。主な特長は次のとおりです。

スーパーダイナミックⅢ方式 (SUPER-DⅢ) を採用

CCD部および信号処理回路にスーパーダイナミック方式を採用し、通常のカメラと比較して、約128倍の高ダイナミックレンジを実現しています。明るい部分から暗い部分まで、照度差の激しい被写体も自然な映像で撮影できます。

オートバックフォーカス機能 (ABF) を搭載

本機の操作ボタンまたはSETUPメニューで、カメラ内のCCDを最適ポジションに移動することによって、自動的にバックフォーカス調整ができます。

設置完了後でも、システムコントローラー (別売り) を使用してSETUPメニューを操作し、調整することができます。

また、カラー映像と白黒映像の切り替え時、自動的にバックフォーカスを調整し、フォーカスずれを補正するよう設定することもできます。

ノイズリダクション機能を搭載し、高感度を実現

低ノイズ回路設計により、最低照度がカラーモード1.5 lx、白黒モード0.16 lxの高感度を実現しています。別売りのドームカバー (WV-CW4C) を使用すれば、カラーモード0.6 lx、白黒モード0.08 lxでも撮影できます。

夜間白黒切り替え機能を搭載

低照度時、自動的に白黒映像へ切り替えることができ、夜間でもそのまま撮影できます。

モーションディテクター機能を搭載

監視中、モニター内に動きが生じた場合やカメラを布やふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを変えられたりした場合、アラーム信号を送出します。

付属品をご確認ください

取扱説明書 (本書) …………… 1冊
保証書 …………… 1式

以下の付属品は取り付け工事に使用
します。

アタッチメント …………… 1個
ドライバービット …………… 1個
防水テープ (ブチルゴムテープ) … 1個

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
 - ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など。
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害。
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
 - ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

個人情報保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

もくじ

はじめに

取扱説明

はじめに

商品概要.....	2
付属品をご確認ください.....	2
免責について.....	3
個人情報の保護について.....	3
安全上のご注意.....	6
取り扱い上のお願ひ.....	8
各部の名前.....	10

設置・接続

工事説明

設置・接続

工事説明.....	12
設置上のお願ひ.....	12
設置工事を始める前に.....	14
カメラを設置する.....	17
接続する.....	22
ヒーターユニットの取り付けかた.....	23
カメラを調整する.....	24

設定

設定

SETUPメニューについて.....	27
SETUPメニュー一覧.....	27
基本的な操作のしかた.....	29
カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP]...31	
①カメラタイトルを設定する [CAMERA ID] ...31	
②光量制御方式を設定する [ALC]	33
SUPER-DⅢ（スーパーダイナミック機能）について.....	33
SUPER-DⅢを設定する.....	33
③シャッター機能を設定する [SHUTTER]	35
④ゲインの調整方法を設定する [AGC]	36
⑤電子感度アップを設定する [SENS UP]	36

その他

⑥同期方式を設定する [SYNC]	37
電源同期モード (LL) の位相を調整する	37
⑦ホワイトバランスの調整方法を設定する [WHITE BAL]	38
ホワイトバランスを微調整する	40
⑧モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET]	41
モーションディテクター機能 (MODE1) について	41
モーションディテクター機能 (MODE2) について	42
モーションディテクター機能 (MODE1) の詳細設定を行う	42
⑨デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR]	44
⑩映像の解像度を設定する [RESOLUTION]	44
⑪白黒モードの各種設定を行う [BW MODE]	45
⑫プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE]	47
⑬電子ズームを設定する [EL-ZOOM]	48
⑭映像を上下(左右)反転表示する [UPSIDE-DOWN]	50
⑮画揺れを補正する [STABILIZER]	50
⑯ピントを自動で補正する [LENS]	50
バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS]	51
特別メニューの設定を行う [SPECIAL]	53
クロマレベル (色の濃さ) を調整する [CHROMA GAIN]	53
アパーチャーレベルを調整する [AP GAIN]	53
ペDESTALレベル (明るさ) を調整する [PEDESTAL]	53
クロマ位相レベル (色合い) を調整する [HUE]	54
傷を補正する [PIX OFF]	54
お買い上げ時の設定内容に戻す [CAMERA RESET]	55
シリアルナンバーを確認する [SER.NO.]	55
言語を設定する [LANGUAGE]	56

その他

故障かな!?	57
仕様	59
保証とアフターサービス	61

安全上のご注意

必ずお守りください

はじめに

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない



禁止

取付部が劣化して、落下などの事故の原因になります。

金属のエッジで手をこすらない



禁止

強くこするとけがの原因になります。

警告

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

ねじや固定機構は しっかりと締め付ける



締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

- 点検は販売店にご依頼ください。

専用の取付金具を使用する



落下によるけがの原因になります。

- 設置の際は、別売りの専用取付金具を使用してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災、落下によるけが、器物破損の原因になります。

- 放置せずに、ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

総質量に耐える場所に取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因になります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

取り扱い上のお願ひ

使用上のお願ひ

はじめに

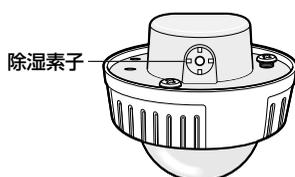
本機に電源スイッチはありません
電源を切るときは、主電源を切ってください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります（推奨温度+35℃以下）。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度-10℃～+50℃、湿度は90%以下の場所で使用してください（常時通電状態で使用する場合）。別売りのヒーターユニットを取り付けると、-30℃～+50℃、湿度90%以下の場所で使用できます。

除湿素子について

- 本機は、カメラ内部を低湿度に保つため除湿素子を内蔵しています。これにより結露を防ぎます。
- 温度、湿度、天候などの条件によっては結露が発生することがあり、除湿に時間がかかることがあります。
- 除湿素子の表面をふさがらないでください。



取り扱いはていねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。また、エンクロージャーに強い衝撃や振動を与えると、故障、浸水の原因になります。

カバーのドーム部に直接触れないでください

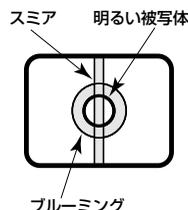
ドーム部が汚れると、画質劣化の原因になります。

CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

強い光に本機を向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



お手入れは

安全のため、主電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。

ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

汚れがひどいときは

水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。ただし、使用環境、使用条件によって変わります。

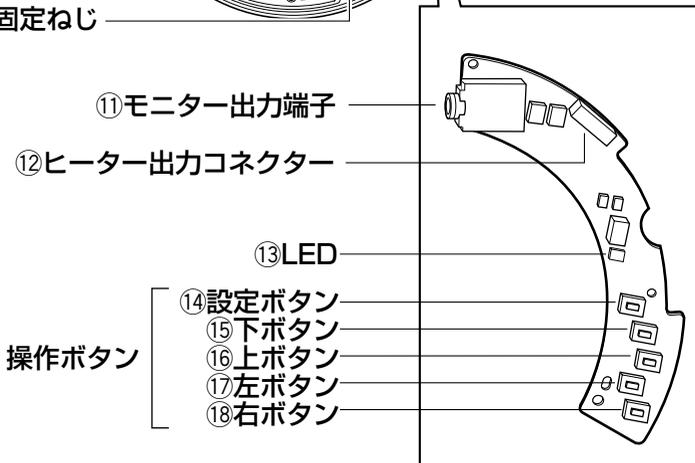
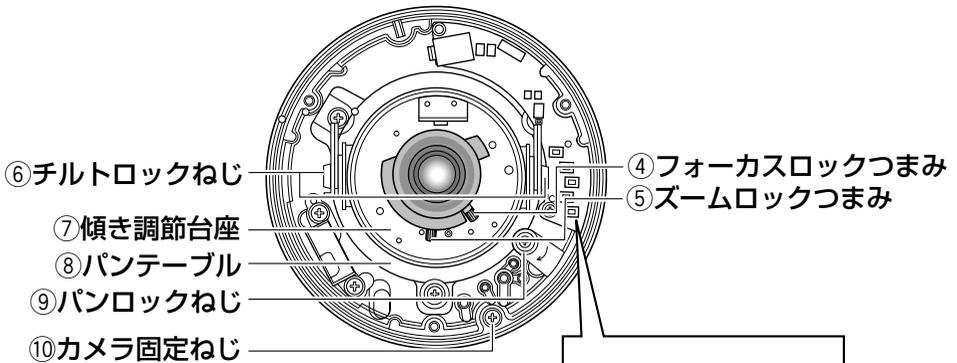
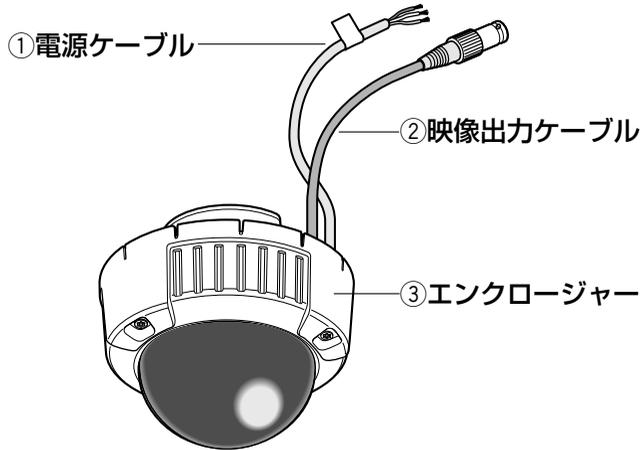
・冷却ファン : 約30 000時間

使用中、画面に「OVER HEAT」と表示されたときは

カメラ内部が異常に高温になっています。ただちにカメラの電源を切り、販売店へご連絡ください。

各部の名前

はじめに



- ①電源ケーブル
- ②映像出力ケーブル
- ③エンクロージャー
- ④フォーカスロックつまみ
フォーカス位置を固定します。
- ⑤ズームロックつまみ
ズーム位置を固定します。
- ⑥チルトロックねじ
チルトの位置を固定します。
- ⑦傾き調整台座
画の傾きを調整します。
- ⑧パンテーブル
カメラの水平方向の角度を調整します。
- ⑨パンロックねじ
パンテーブルを固定します。
- ⑩カメラ固定ねじ
カメラ本体とアタッチメントを固定します。
- ⑪モニター出力端子
- ⑫ヒーター出力コネクタ
ヒーターユニット（別売り）のケーブルを接続します。
- ⑬LED
ABFの動作状況を示します。
- ⑭設定ボタン
[(SET)、ABF2/MENU]
設定内容を確定します。[ABF2]については、19ページをお読みください。
- ⑮下ボタン [(DOWN)、ABF1]
カーソルを下に動かして、設定内容を切り替えます。[ABF1]については25ページをお読みください。
- ⑯上ボタン [(UP)]
カーソルを上動かして、設定内容を切り替えます。
- ⑰左ボタン [(LEFT)、NEAR]
カーソルを左に動かしたり、設定内容を選択したりします。
- ⑱右ボタン [(RIGHT)、FAR]
カーソルを右に動かしたり、設定内容を選択したりします。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

カメラの取り付け場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで、設置してください。

- 強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- カメラ本体は建築物の基礎部分または、十分な強度がある部分に設置してください。

本機は軒下設置用です

直射日光や雨が直接当たる場所へは設置しないでください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- プールなど、薬剤を使用する場所
- 厨房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用周囲温度（ -10°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ ）を超える場所
- 車輻や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）

- 強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、または別売りの取付金具WV-Q114を使用してください。
- 壁に取り付ける場合は、別売りの取付金具WV-Q114を使用してください。

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

ホワイトバランスについて

次のような場合は、ホワイトバランスが正しくとれないことがあります。

- 白が極端に少ない被写体や単一色に近い被写体を撮影する。
- 朝夕の屋外や低照度の状態で撮影する。
- 極端に色温度が違う（カラーの照明など）状態で撮影する。

湿気やほこりの多い場所に設置しないでください

内部の部品がいたみやすくなり、故障の原因になります。

カメラケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください
雑音の入る原因になります。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界の近く（モーターやトランスなど）では、映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、専用の薄電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。

取付ねじの締め付けについて

ねじやボルトは、取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。ねじやボルトを締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

取付ねじは別途ご用意ください

本機を取り付けるねじは付属されていません。取り付け場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

設置工事を始める前に

カメラを壁または天井に取り付ける方法には、次の2通りがあります。(次ページ)

!!重要!!

- アタッチメント(付属品)を取り付ける取付ねじは取り付け場所の材質に合わせてご用意ください。ただし、木ねじ、および、くぎは使用しないでください。(推奨締付トルク M4: 1.6 N・m {16 kgf・cm})
- アタッチメントは必ず矢印が上になるように取り付けてください。
- 取り付け場所のねじ引抜強度は、1本あたり196 N {20 kgf} 以上必要です。
- 石こうボードなど、強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、別売りの取付金具WV-Q114を使用してください。
- 別売りの取付金具を使用する場合は、使用する取付金具の取扱説明書をお読みください。

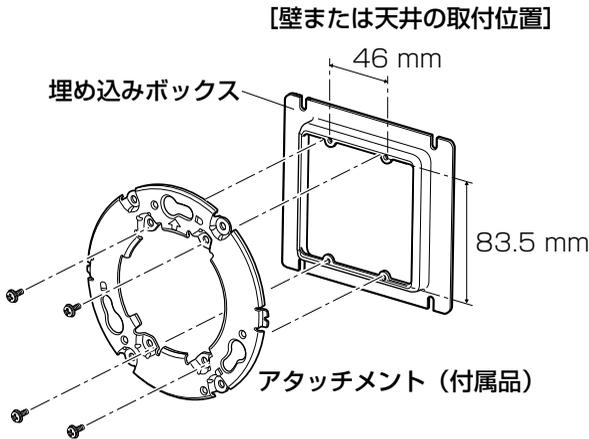
カメラ設置時の取付条件は次のとおりです。

取付場所	適合機種	推奨ねじ	ねじ数	最低引抜強度(1本あたり)
天井・壁面用	(直付け)	M4	4本	196 N {20 kgf}
天井・壁面用	WV-Q114	—	—	※
	(約470 g)			

※カメラ本体を含めた総質量の5倍以上の取付強度を確保してください。

2コ用スイッチボックスを使用する

- 2コ用スイッチボックス（例：松下電工株式会社製 品番：DS4912）を使ってカメラを取り付ける場合、まず、壁または天井に設置された埋め込みボックスにアタッチメント（付属品）を取り付けます。

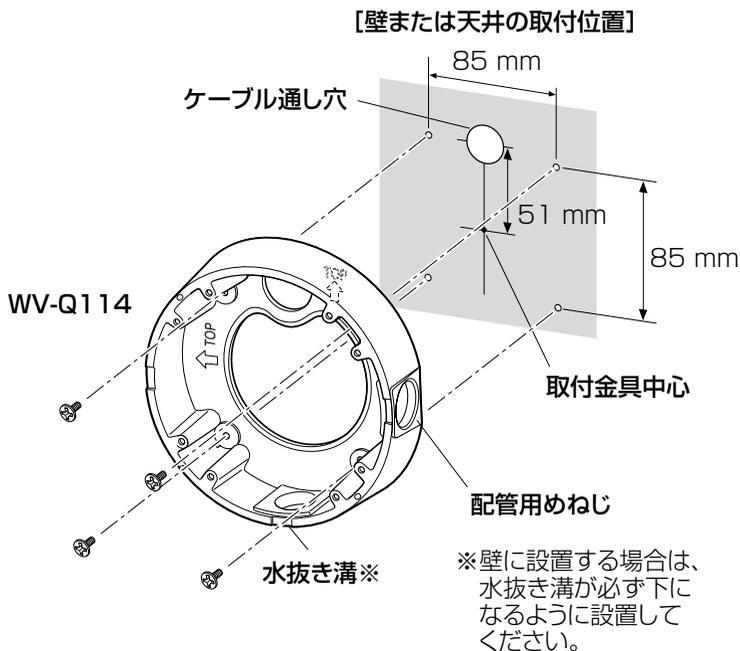


取付金具 WV-Q114（別売り）を使用する

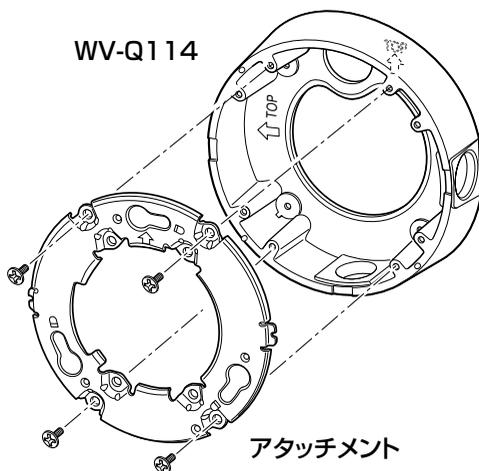
- 取付金具 WV-Q114（別売り）を使ってカメラを取り付ける場合、取付金具を壁または天井に取り付けます（次ページ参照）。次にWV-Q114付属のねじを使用してアタッチメント（付属品）を取り付けます（次ページ参照）。（推奨締付トルク 0.78 N・m {8 kgf・cm}）
- ケーブルを通す穴があいている壁または天井に取り付けるときや、露出配線で取り付けるときは取付金具を使用します。
- 配管用めねじは、JIS C 8305（電線管ねじ）のCTG22またはJIS B 0202（管用平行ねじ）のG3/4に対応しています。配管用めねじは六角レンチを使用して外します。
- 取付金具の2つの矢印（↑）のどちらかが上を向くように取り付けてください。

設置工事を始める前に (つづき)

<壁または天井に取付金具を取り付ける>



<取付金具にアタッチメントを取り付ける>



カメラを設置する

STEP1

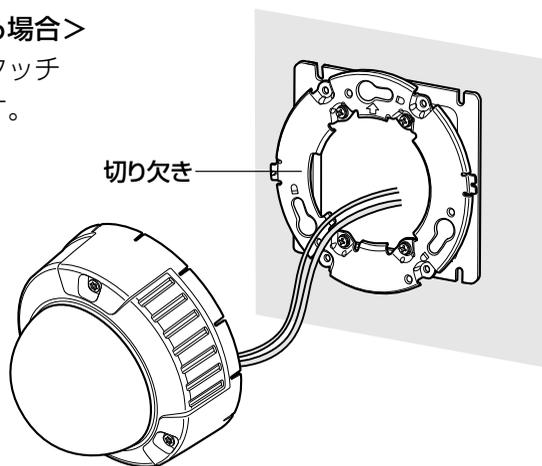
電源ケーブルと映像出力ケーブルを接続します (P.22ページ)。

STEP2

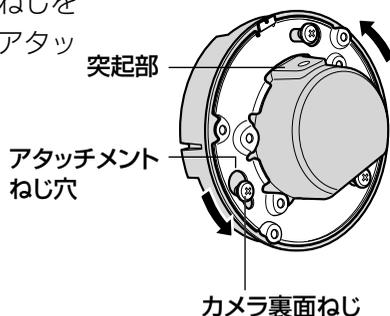
カメラを取り付けます。

<埋め込みボックスを使用する場合>

カメラ本体裏側の突起部とアタッチメントの切り欠きを合わせます。



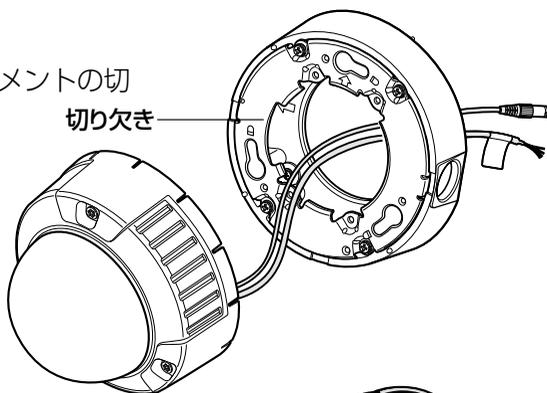
アタッチメントのねじ穴にカメラ裏面のねじをひっかけ、矢印の方向にカメラを回し、アタッチメントとカメラを固定します。



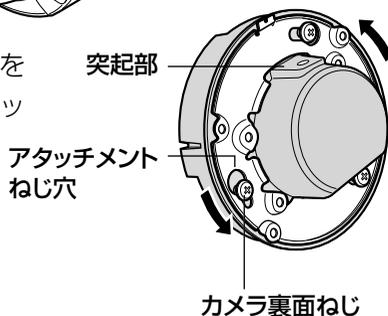
カメラを設置する (つづき)

<取付金具を使用する場合>

カメラ本体裏側の突起部とアタッチメントの切り欠きを合わせます。



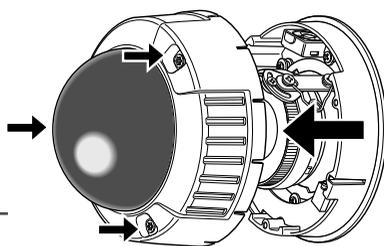
アタッチメントのねじ穴にカメラ裏面のねじをひっかけ、矢印の方向にカメラを回し、アタッチメントとカメラを固定します。



STEP3

ねじ3本をゆるめてエンクロージャーを外します。

付属のドライバービットを使ってねじを外します。

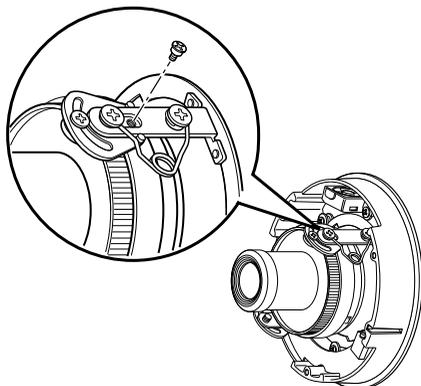


メモ

- 別売りのドームカバー (WV-CW4C) と交換するときも上記と同様の作業を行います。

STEP4

輸送用のねじ (1か所) を外します。

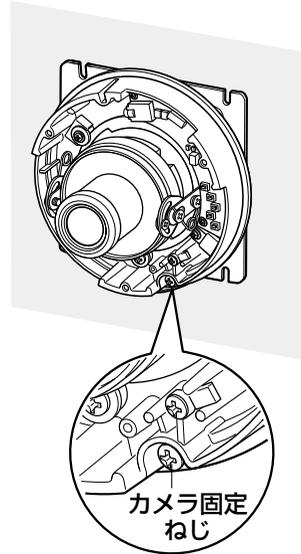


STEP5

本体をカメラ固定ねじで固定します。
イラストは埋め込みボックスを使用した例です。

!!重要!!

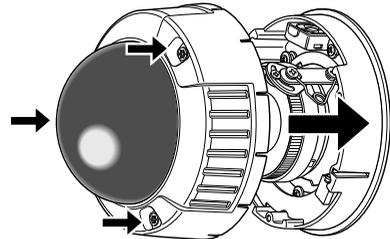
- カメラ固定ねじは確実に締めてください。
浸水による故障や落下事故の原因になります。
(推奨締付トルク：
0.78 N・m {8 kgf・cm})

**STEP6**

カメラを調整します (☞24ページ)。

STEP7

エンクロージャーを取り付けます。
STEP3で外したねじを付属のドライバー
ビットを使って締めます。
(推奨締付トルク：
0.78 N・m {8 kgf・cm})

**メモ**

- エンクロージャーを取り付けると、ピントが少しずれる場合がありますが、システムコントローラーを使用する場合は、エンクロージャーの取り付け後、「BACK-FOCUS SETUP」画面で調整してください。
 - システムコントローラーを使用しない場合でも、エンクロージャーの取り付け後、[ABF2] ボタンを使うことで、バックフォーカスを調整することができます。[ABF2] ボタンを使う場合の作業手順は以下のとおりです。
 - ① [ABF2] ボタンを押す。→LEDが点滅し始める。
 - ②LEDが点滅している間(3分間)に、エンクロージャーを取り付ける。
 - ③LEDが点灯に変わり、自動的にバックフォーカスが調整される。調整が終わると、LEDは消灯する。
- ※このとき、動きが多い被写体を写さないようにしてください。
※LED点灯後、再度点滅した場合、バックフォーカスの調整が失敗した可能性がありますので、調整用モニターで確認してください。
調整し直す場合は、再度上記手順を行ってください。

カメラを設置する（つづき）

ケーブル接合部の防水処理について

取付金具 WV-Q114（別売り）を使用して露出配線でカメラを設置する場合や、軒下に設置するときはケーブルの防水処理をしてください。本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。

また、電源ケーブル、映像出力ケーブルの接続部には、必ず付属の防水テープを使用し、以下の手順で防水処理を行ってください。付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、隙間から水が入り、故障の原因になります。

STEP1

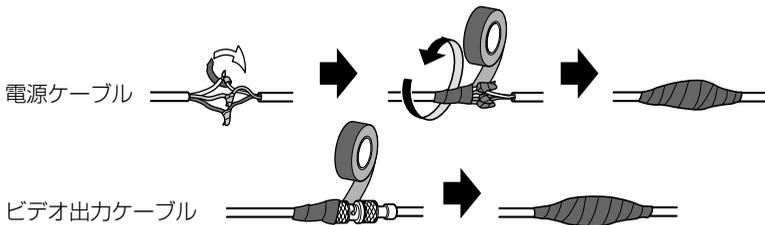
電源ケーブルを接合します。

STEP2

電源ケーブルに防水テープを巻き付けます。

STEP3

映像出力ケーブルのBNCコネクター接合部にテープを巻き付けます。



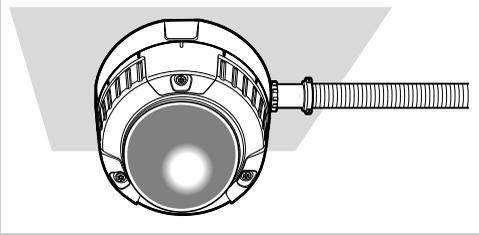
<付属の防水テープの巻きかた>

テープを約2倍の長さ引き延ばし（下図参照）、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。

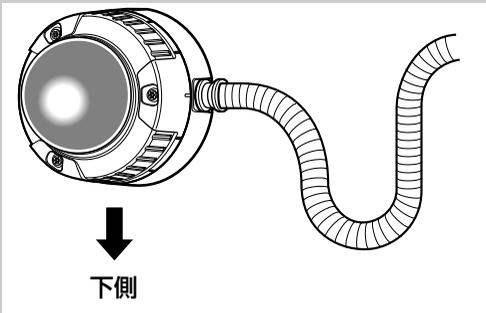


!!重要!!

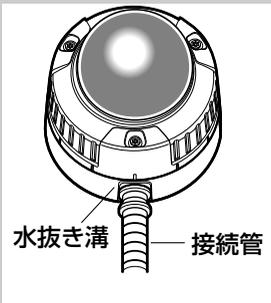
- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。



- ケーブルがカメラの下側になるように取り付けてください。また、取付金具の横にケーブルをいったん引き出して下向きにした後、上向きに配線します。

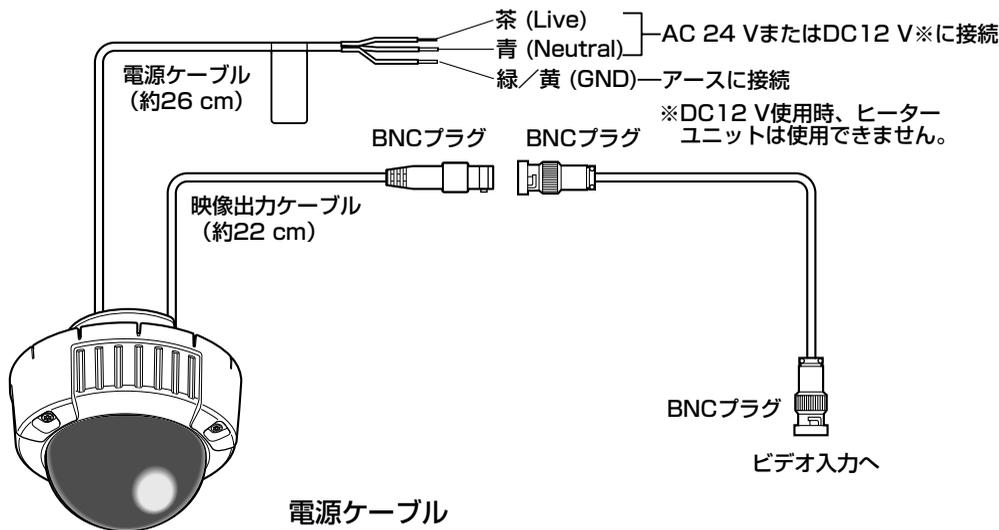


- 壁に取り付けるときは、水抜き溝が下側になるように取り付けてください。また、水抜き溝はふさがらないでください。水抜き溝をふさぐと、カメラ後部の除湿素子が機能しません。また、取付金具の内部にたまった水が除湿素子をふさぎ、故障の原因になります。



接続する

10 VAを超える電源トランスは使用しないでください。



設置
・
接続

電源ケーブル

	AC24 V	DC 12 V
茶	Live	プラス
青	Neutral	マイナス
緑/黄	アースに接続してください	

ヒーターユニット (WV-CW4H) の接続

別売りのヒーターユニットを使用すると、屋外の低温環境でも -30°C までカメラを使用できます。カメラの内部温度が約 10°C 以下になると自動的にヒーターがONになり、内部温度が上昇するとOFFになります。結露緩和用ファンによって、温度変化によるカメラドームの曇り（結露）を緩和します。ただし、急激な温度変化による著しい結露については緩和しきれない場合があります。

!!重要!!

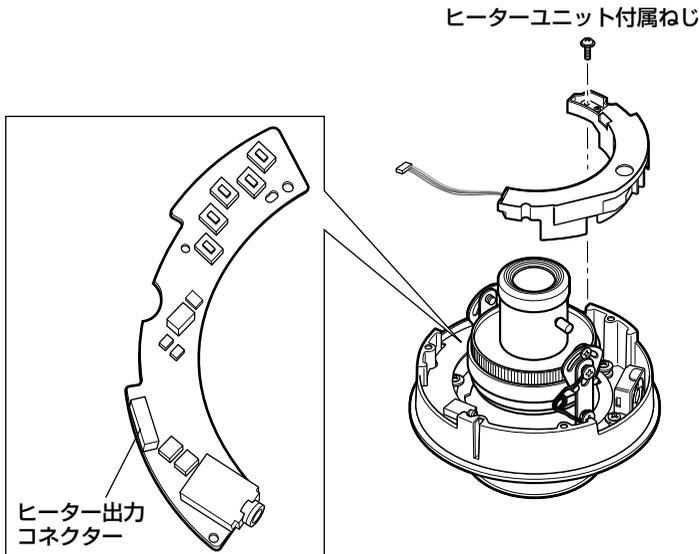
- DC 12 Vではヒーターユニットは使用できません。

!!重要!!

- ヒーターユニット動作時、カメラ画像に影響が出る場合があります。
- 取り付け・取り外しは、必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。通電時、ヒーターユニットは高温になりますので、取り外しの際は、カメラとの接続コネクタをはずし、温度が下がってから行ってください。
- 10℃以下の環境で、設置・使用開始する場合、起動直後は正常な画像が得られない場合があります。この場合、カメラが暖まるのを待ってから（約30分以上）再度操作してください。

ヒーターユニットの取り付けかた

- ①カメラのエンクロージャーを外し、所定の位置に付属のねじ（×1）で取り付けます。
- ②ヒーターユニットのケーブル（×1）をカメラ本体のコネクタに接続します。

**!!重要!!**

- ヒーターユニットを取り付けた後、エンクロージャーおよび、カメラ内部の機器への巻き込みが無いようにケーブルを引き回してください。

カメラを調整する

STEP1

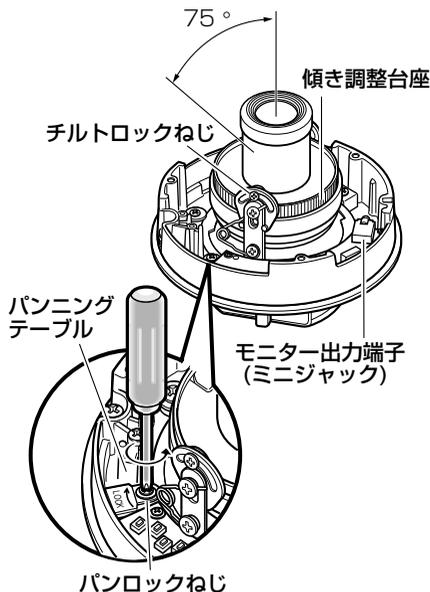
調整用モニターの映像を見ながらカメラアングルを調整します。

モニター出力端子に調整用モニター（小さな液晶モニターなど）を接続し、カメラアングルを調整してください。

カメラアングルを決めるときは、次の手順

①、②、③の調整作業を少しずつ動かし、微調整をくり返しながら設定してください。

- ①パンロックねじをゆるめて、水平方向にカメラ部を回転させ、パンの調整を行います。
- ②チルトロックねじ（2か所）をゆるめて、垂直方向にカメラ部を回転させ、チルトの調整を行います。
- ③傾き調整台座を回し、画の傾きを調整します。
- ④カメラアングルが決まったらパンロックねじとチルトロックねじを締めます。



!!重要!!

- パンロックねじを確実にしめてください。
(推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm})

✎メモ

- モニター出力端子に接続するミニジャックはL型を使用してください（ストレート型は使用できません）。
- 調整用モニターを接続すると、映像出力端子からは映像が出力されません。
- 調整用モニターを接続するとカメラの光量制御方式が電子絞り制御（ELCモード：Electrical Light Control）となり、レンズの絞りは解放となります。これにより、焦点の合う被写体距離の範囲が狭まるため、より正確なフォーカス調整が行えます。
調整中に、スポットライトや窓からの光線などの強い照明を受けている被写体を映すとスミアやブルーミングが生じる場合がありますが、実際の使用状態ではALCモード（Automatic Light Control）になりますのでスミアやブルーミングは軽減されます。
- パン、チルト調整と同時に、STEP2のフォーカス調整を行ってください。

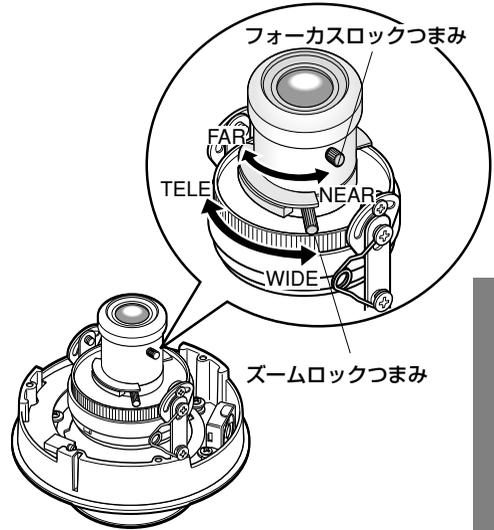
STEP2

フォーカスを調整します。

フォーカス調整は、パン、チルトの調整と同時に行います。

次の手順①,②,③を行い、フォーカスを調整してください。

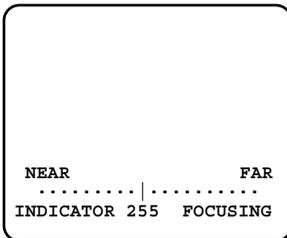
- ①ズームロックつまみをゆるめて、
TELE ⇄ WIDE間で適当な画角に動か
し、ズームロックつまみを締めま
す。
- ②フォーカスロックつまみをゆるめて、
フォーカスを粗調整し、フォーカス
ロックつまみを締めます。
- ③カメラのバックフォーカスを
SETUP メニューから本調整 (☞51
ページ) するか、以下のSTEP3、
STEP4で本調整を行ってください。



STEP3

調整用モニターの画面を見ながら、画角を合わせた後、[ABF1] を押します。

LED (☞10ページ) が点灯し、画面下部にフォーカス位置表示が表示され、自動的にバックフォーカスが調整されます。



STEP4

LEDが消灯し、バックフォーカスの自動調整が終了した後、さらにバックフォーカスを微調整する場合は左ボタンまたは右ボタンを押して調整します。

カメラを調整する（つづき）

メモ

- 10秒以上何も操作しないと、フォーカス位置表示は自動的に消えます。
 - 画角を変える場合は、もう一度ズームロックつまみ、フォーカスロックつまみを回してピントを合わせてください。
-

<ピントの合わせかた>

- 自動絞りレンズを使って被写体を写す場合、レンズ自体の焦点深度の関係で絞りの状態によっては、はじめに合わせたピントが若干ピンボケになることがあります。このようなときは、写真を撮る要領で被写体をできるだけ暗くして、絞りが開いた状態でピントを合わせると、ピンボケを防ぐことができます。

SETUPメニュー「BACK-FOCUS」の「ABF」を使用すると（51ページ）、自動的に照度が変化しても追従できる最適条件でピントを合わせることができます（注：ある特定の明るさでの最適位置とは必ずしも一致しません）。

- 近赤外光領域では可視光領域に比べてピントが甘くなる場合があります。SETUPメニュー「BACK-FOCUS」の「C/L ↔ B/W」を「AUTO」または「PRESET」に設定すると、近赤外光領域と可視光領域の両方でピントを合わせることができます（フォーカス動作完了後の照明変化には対応していません）。
-

<バリフォーカルレンズ・ズームレンズの使いかた>

- 調整前は、いったんバックフォーカス位置をリセットして、CSマウントの標準位置に戻してください（操作ボタンの左ボタンと右ボタンを同時に約2秒間押すか、SETUPメニュー「BACK-FOCUS」の「MANUAL-ADJ」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押した後、左ボタンと右ボタンを同時に約2秒間押す）。
-

SETUPメニューについて

本機を使用する場合、あらかじめSETUPメニューで各項目を設定しておく必要があります。撮影場所の条件に合わせて、各項目を設定します。本書では、SETUPメニューのLANGUAGE設定が日本語の場合で説明します。

SETUPメニュー一覧

設定項目	概要	ページ
CAMERA	カメラの動作に関する設定を行います。	
CAMERA ID	カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。	31
ALC	光量の制御方式を設定します。	33
SHUTTER	電子シャッターの速度を設定します。	35
AGC	ゲインの調整方法を設定します。	36
SENS UP	電子感度アップを設定します。	36
SYNC	同期方式を設定します。	37
WHITE BAL	ホワイトバランスの調整方法を設定します。	38
MOTION DET	モーションディテクター機能を設定します。	41
DNR	デジタルノイズリダクション機能を設定します。	44
RESOLUTION	映像の解像度を設定します。	44
BW MODE	カラー映像と白黒映像の切り替えなど、白黒モードに関する各種設定を行います。	45
PRIVACY ZONE	撮影場所の中の写したくない部分だけを表示しないよう設定します。	47
EL-ZOOM	電子ズームを設定します。	48
UPSIDE-DOWN	映像を上下（左右）反転表示します。	50

SETUPメニューについて (つづき)

設定項目	概要	ページ
STABILIZER	カメラの画揺れ補正を行うかどうかを設定します。	50
LENS	ピントを自動で補正します。	50
BACK-FOCUS	バックフォーカスの調整方法の設定と微調整を行います。	51
SPECIAL		
CHROMA GAIN	クロマレベル (色の濃さ) を調整します。	53
AP GAIN	アパーチャーレベルを調整します。	53
PEDESTAL	ペDESTALレベル (明るさ) を調整します。	53
HUE	クロマ位相レベル (色合い) を調整します。	54
PIX OFF	傷を補正します。	54
CAMERA RESET	SETUPメニューの設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。	55
SER.NO.	本機のシリアルナンバーを確認します。	55
LANGUAGE	SETUPメニューの言語を設定します。	56

基本的な操作のしかた

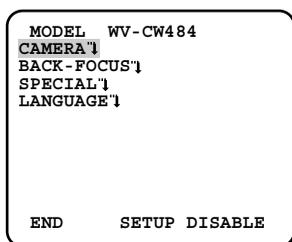
SETUPメニューの基本的な操作のしかたを説明します。

ここでは操作ボタン（P.10ページ）を使って、接続している調整用モニターにSETUPメニューを表示する方法について説明します。

システムコントローラー（別売り）から行うこともできます。

画面1

設定ボタンを約2秒間押し続け、SETUPメニューのトップ画面を表示します。



STEP1

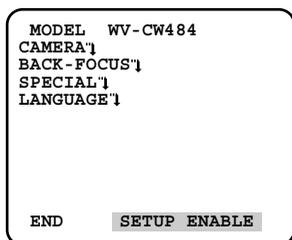
上ボタンまたは下ボタンを押して、カーソルを「END」に合わせます。

STEP2

右ボタンを押して「SETUP」にカーソルを合わせ設定ボタンを押し、設定モードを「DISABLE」→「ENABLE」に切り替えます。

画面2

設定モードが「ENABLE」に切り替わり、SETUPメニューが設定できる状態になります。



STEP3

設定したいSETUPメニューにカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

SETUPメニューについて (つづき)

画面3

選択したSETUPメニューの設定画面が表示されます。

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID   OFF↓
ALC         ALC↓
SHUTTER     OFF
AGC         ON (HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC       INT
WHITE BAL   ATW1↓
MOTION DET  OFF
DNR        HIGH
RESOLUTION  HIGH
BW MODE'1
```

```
**CAMERA SETUP** 2/2
PRIVACY ZONE OFF
EL-ZOOM      OFF
UPSIDE-DOWN  OFF
STABILIZER   OFF
LENS        PANASONIC

RET  TOP  END
```

メモ

- 本機では誤操作を防止するため、カメラ本体からSETUPメニューのトップ画面を表示すると、必ず設定モードが「DISABLE」になっています。操作するときは「ENABLE」に切り替えてください。
- カーソルとは設定項目が反転表示している部分をいいます。

STEP4

各設定項目を設定します。

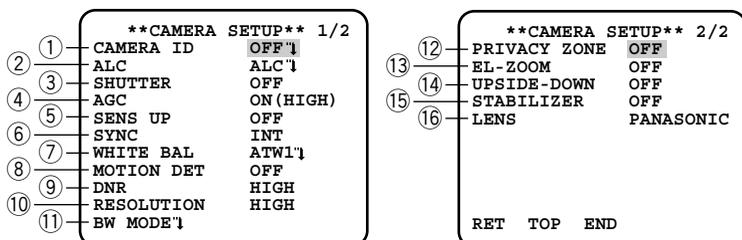
- 設定項目の選択：
上ボタンまたは下ボタンを押してカーソルを移動します。
- 設定内容の切り替え：
左ボタンまたは右ボタンを押します。
- 設定項目の詳細設定画面を表示：
「↓」が表示されている設定項目で設定ボタンを押します。
- 前の設定画面に戻る：
「RET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
- トップ画面に戻る：
「TOP」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

STEP5

カメラ映像の画面に戻るときは、「END」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP]

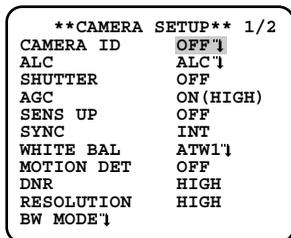
カメラの動作に関する設定を行います。トップ画面から「CAMERA SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは29、30ページをお読みください。



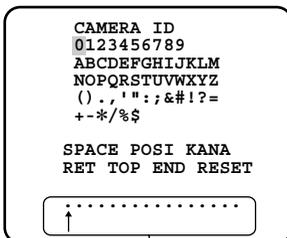
① カメラタイトルを設定する [CAMERA ID]

カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。カメラタイトルは最大16文字まで設定できます。以下の手順に従って、カメラタイトルを設定します。

「CAMERA SETUP」画面

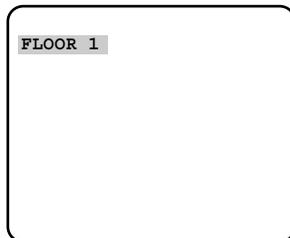


タイトル作成画面



入力領域

表示位置設定画面



STEP1

「CAMERA ID」を「ON」に設定し、設定ボタンを押します。
→タイトル作成画面が表示されます。

STEP2

上/下/左/右ボタンで表示したい文字にカーソルを合わせ、設定ボタンを押して文字を入力します。
→入力した文字は入力領域に表示されます。

<文字入力について>

- 文字を修正したいときは、カーソルを入力領域の矢印（↑）に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、カーソル（↑）を変更したい文字に合わせ再入力します。
- 空白スペースを挿入したいときは、「SPACE」にカーソルを合わせ設定ボタンを押します。
- 入力した文字をすべて消去したいときは、「RESET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
- カタカナを入力したいときは、「KANJI」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押し、カタカナ入力画面を表示します。
- 英数字を入力したいときは、「ALPHA」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押し、英数字入力画面を表示します。

STEP3

タイトルを入力したら、「POS1」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→表示位置設定画面が表示されます。

STEP4

上／下／左／右ボタンでタイトルを表示する位置を決め、設定ボタンを押します。

→カメラタイトルと表示位置が設定されます。

②光量制御方式を設定する [ALC]

SUPER-DⅢの設定を行う場合は、以下をお読みください。

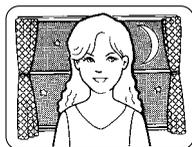
SUPER-DⅢ（スーパーダイナミック機能）について

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまう。逆に暗い部分にレンズの絞りを合わせると、明るい部分が見えなくなってしまう。

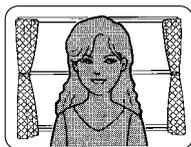
この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミック機能と言います。

[SUPER-DⅢ機能を働かせない場合]

夜間

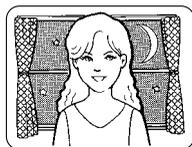


日中



[SUPER-DⅢ機能を働かせた場合]

夜間



日中



SUPER-DⅢを設定する

SUPER-DⅢ機能の「ON」／「OFF」を設定します。

「OFF」に設定した場合、映像の明るい部分にマスクをかける設定が必要になります。また、「ON」／「OFF」のどちらに設定した場合でも、映像の出力レベル（映像のコントラスト）を調整する必要があります。

次ページの手順に従って操作します。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

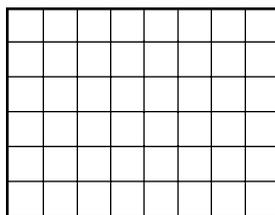
「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID   OFF`1
ALC          ALC`1
SHUTTER     OFF
AGC         ON(HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC        INT
WHITE BAL   ATW1`1
MOTION DET  OFF
DNR         HIGH
RESOLUTION  HIGH
BW MODE`1
```

「ALC CONT」画面

```
**ALC CONT**
BACK LIGHT COMP
SUPER-D3    OFF
MASK SET`1
LEVEL       ..|...128
            -  +
RET TOP END
```

マスク設定画面



STEP1

「ALC」で設定ボタンを押します。
→「ALC CONT」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「SUPER-D3」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンで「ON」／「OFF」を設定します。

ON (お買い上げ時)

：常にSUPER-DⅢ機能を働かせます。(→STEP6へ)

OFF：SUPER-DⅢ機能を停止します。(→STEP3へ)

STEP3

カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押します。

→マスク設定画面が表示されます。

STEP4

映像の明るい部分にマスクをかけます。上/下/左/右ボタンを押して、

マスクをかけたい区画に点滅表示を合わせ、設定ボタンを押します。マスクがかかると、区画が横縞と白の交互表示になります。点滅表示を他の区画に移動すると白く表示されます。マスクをかけたい区画に上記の操作を行います。

<マスクの設定を取り消したいときは>

取り消したい区画に点滅表示を合わせ、設定ボタンを押します。

すべてのマスク設定を取り消す場合、左ボタンと右ボタンを同時に約2秒間押します。

STEP5

マスクの設定が完了したら、設定ボタンを約2秒以上押し続けます。

→「ALC CONT」画面に戻ります。

STEP6

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでレベルを調整します。

メモ

- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定すると、以下の設定項目の設定内容が制限されます。
SHUTTER：OFF、1/100のみ設定可能
SENS UP：OFF、AUTOのみ設定可能
- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定すると、明るい部分と暗い部分との境界に影（黒い線）が表示されることがありますが、故障ではありません。
- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定した場合は、「LEVEL」を少し上げ気味に設定すると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像（ちらつき）やノイズなどが多くなる場合があります。
- 照明の条件によって以下のような現象がみられるときは、「OFF」に設定してください。
 - (1) 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - (2) 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

③シャッター機能を設定する [SHUTTER]

電子シャッターのスピードを変えると以下のことができます。

- スピードを速くする（～1/10 000）と、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- 50 Hzの蛍光灯照明下などでフリッカ（ちらつき）が発生するときには、1/100に設定することによってフリッカを軽減できます。

電子シャッターのスピードを以下から設定します。SUPER-DⅢ機能の設定によって、設定できる値が異なります。

SUPER-DⅢ機能を「OFF」に設定しているとき

：OFF（1/60）、1/100、1/250、1/500、
1/1 000、1/2 000、1/4 000、1/10 000

SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定しているとき

：OFF（1/60）（お買い上げ時）、1/100

メモ

- シャッタースピードを速くすると感度が落ちます。また、明るい光源などではスミア（☞8ページ）などがでやすくなります。
-

④ゲインの調整方法を設定する [AGC]

ゲイン調整方法を以下から設定します。

ON (HIGH) (お買い上げ時) / ON (MID) / ON (LOW)

：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。
() 内のHIGH/MID/LOWはゲインのレベルになります。

OFF：ゲインを上げません。

⑤電子感度アップを設定する [SENS UP]

電子感度アップ機能を使用すると、CCDに蓄積する光量を増大させ、映像を明るくできます。FIXでは倍率は固定となり、AUTOでは被写体の照度に応じて、自動的に倍率が変化します。電子感度の倍率は以下から設定します。SUPER-DⅢ機能の設定によって、設定できる値が異なります。

SUPER-DⅢ機能を「OFF」に設定しているとき

：OFF / X2 AUTO / X4 AUTO / X6 AUTO / X10 AUTO / OFF / X2
FIX / X4 FIX / X6 FIX / X10 FIX / X16 FIX / X32 FIX

SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定しているとき

：OFF (お買い上げ時) / X2 AUTO / X4 AUTO / X6 AUTO / X10 AUTO

メモ

- 「SHUTTER」を「1/100」に設定している場合、AUTOモードのみが動作します。また、「SHUTTER」を「1/100」で使用するときは、最初に「SHUTTER」を設定してから電子感度の倍率を設定してください。
- 「SENS UP」を「AUTO」に設定し、SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定している場合、電子感度アップの動作中はSUPER-DⅢ機能の効果が得られません。
- 電子感度の倍率を上げると、画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。
- 「SENS UP」を「OFF」「X2 AUTO」「X2 FIX」以外の設定で使用する場合、バックフォーカスは「MANUAL-ADJ」および「C/L ↔ B/W」の「FIX」または「PRESET」に設定してください。「ABF」および「C/L ↔ B/W」の「AUTO」は使用できません。
- システムコントローラーWV-CU254/CU300/CU354 (別売り) を使用し、SUPER-DⅢを「ON」に設定しているときは、システムコントローラー側から「SENS UP」を設定することはできません。本機の操作ボタンで設定してください。

⑥同期方式を設定する [SYNC]

本機は以下の3種類の同期方式に対応しており、いずれかを設定します。
記載順序は同期方式の優先順位を示しています。

- (1) 多重化垂直ドライブ信号 (VD2)
- (2) 電源同期 (LL) ※電源周波数を元に同期を合わせます。
- (3) 内部同期 (INT) (お買い上げ時)

多重化垂直ドライブ信号 (VD2) が入力された場合は、カメラが他の同期方式に設定してある場合でも、自動的にVD2同期に切り替わります。

電源同期モード (LL) に設定した場合、位相を調整する必要があります。

メモ

- 電源同期 (LL) の設定は60 Hz地域の場合のみ変更できます。
50 Hz地域の場合は設定できません。

電源同期モード (LL) の位相を調整する

調整するカメラの映像信号と基準となる外部同期入力信号を2入力オシロスコープに接続し、位相を調整します。

メモ

カメラを動かしたり、交流ラインにスパイクノイズがあると、垂直位相が変化する場合があります。そのときは再調整してください。

次ページの手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```

**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID  OFF`1
ALC          ALC`1
SHUTTER     OFF
AGC         ON(HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC        INT
WHITE BAL   ATW1`1
MOTION DET  OFF
DNR         HIGH
RESOLUTION  HIGH
BW MODE`1
  
```

「SYNC」画面

```

**SYNC**
V PHASE
COARSE      1(1--16)
FINE        ...|...128
             -  +
RET TOP END
  
```

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

STEP1

「SYNC」を「LL」に設定し、設定ボタンを押します。
→ 「SYNC」画面が表示されます。

STEP2

カメラの映像出力信号と外部同期入力信号を2入力オシロスコープに接続し、カーソルを「COARSE」に合わせます。

STEP3

オシロスコープを垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大します。

左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、垂直位相を調整します。

22.5° ずつ16段階で調整できます。

1 (1--16) : 0° / 2 (1--16) : 22.5° / . . . / 16 (1--16) : 337.5

STEP4

カーソルを「FINE」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、両方の垂直位相を調整します。

⑦ ホワイトバランスの調整方法を設定する [WHITE BAL]

ホワイトバランスの調整方法を以下から選択します。

ATW1 (お買い上げ時)

：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します。自動設定した後、手動で微調整することもできます (40ページ)。

動作範囲は約2 700 K~6 000 Kです。以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。

- ・ 被写体の大部分が濃い色
- ・ 光源が抜けるような青空や夕暮れ時の太陽
- ・ 被写体を照らす照度が暗い

ATW2 : ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調整します。

動作範囲は約2 000 K~6 000 Kです。

AWC : 自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。「AWC」に設定した場合、ホワイトバランスを調整するための操作を行う必要があります。

「AWC」に設定した場合、以下の手順に従ってホワイトバランスを調整します。

「CAMERA SETUP」画面

CAMERA SETUP 1/2	
CAMERA ID	OFF ¹
ALC	ALC ¹
SHUTTER	OFF
AGC	ON(HIGH)
SENS UP	OFF
SYNC	INT
WHITE BAL	AWC ¹
MOTION DET	OFF
DNR	HIGH
RESOLUTION	HIGH
BW MODE ¹	

STEP1

「WHITE BAL」を「AWC」に設定し、左ボタンを押して、「AWC→PUSH SW」に切り替えます。

STEP2

設定ボタンを押してホワイトバランスを調整します。
調整中は「PUSH SW」が反転表示します。反転表示が元に戻ったらホワイトバランスの調整は終了です。

STEP3

右ボタンを押して、「AWC」に設定します。
ホワイトバランスを微調整する場合は、次ページをお読みください。

メモ

動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。この補正範囲から外れていたり、被写体を照らす照明が暗いときは、ホワイトバランスが完全に調整できないことがあります。このとき、「PUSH SW」の表示は反転表示のままになります。

ホワイトバランスを微調整する

自動色温度追尾モード (ATW)、自動ホワイトバランスコントロールモード (AWC) でホワイトバランスを自動調整した後に、手動でホワイトバランスを微調整します。

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID  OFF↓
ALC        ALC↓
SHUTTER    OFF
AGC        ON (HIGH)
SENS UP    OFF
SYNC       INT
WHITE BAL  ATW1↓
MOTION DET OFF
DNR        HIGH
RESOLUTION HIGH
BW MODE↓
```

微調整画面

```
**ATW1**
R          ...|...128
          -  +
B          ...|...128
          -  +
RET TOP END
```

STEP1

「WHITE BAL」を「ATW1」、
「ATW2」または「AWC」に設定し、
設定ボタンを押します。

→微調整画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「R」、「B」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、レベルを微調整します。「R」は赤色、「B」は青色をあらわし、「+」方向に動かすと色が濃く、「-」方向に動かすと色が薄くなります。

⑧ モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET]

モーションディテクター機能を設定します。MODE1とMODE2のどちらかを選択します。MODE1に設定した場合、検出感度レベルや検出範囲の設定など詳細設定が必要になります。また、デモモードを使って検出範囲の設定や確認を行うこともできます。

MODE1 : 動きを検出したときにアラーム信号を送出します。

MODE2 : カメラを覆い隠されたり、向きを変えられたりしたことを検出し、アラーム信号を送出します。

OFF (お買い上げ時) : モーションディテクター機能を設定しません。

モーションディテクター機能 (MODE1) について

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識し、撮影場所の映像に変化(動き)が生じたときにアラーム信号を送出します。この機能を使うことによって、アラームが発生したときに、録画機器などにカメラの映像を録画することができます。

検出条件

被写体の大きさ : 動く物体は1/48以上の大きさが必要です。

被写体のコントラスト : 背景映像と動く物体のコントラスト比が5% (最大感度設定時) 以上必要です。

被写体の動く速さ : 画面の端から端までを物体が通過する時間が0.8秒以上必要 (コントラスト比5%の場合) です。これより速い物体は検出できません。

メモ

被写体の大きさや動く速さの制限は、コントラスト比 (明暗の差) が大きいと緩和されます。

デモモードについて

48分割した各ブロックの輝度変化を検出し、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。

デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調整や検出範囲の設定を繰り返して、最適な状態にします。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

モーションディテクター機能 (MODE2) について

カメラを布やふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを大きく変えられるなどして被写体が変わった場合にアラーム信号を送出します。

!!重要!!

- 以下の場合、検出できない可能性があります。
 - ・画面の一部しか覆い隠されていない場合や、覆いが透けている場合
 - ・カメラの向きを変えられる前と後との被写体が似ている場合
- また、以下のような場合、誤検出する可能性があります。
 - ・照明のON/OFFなど明るさの変化が大きい場合
 - ・人や車などの交通量が多い場合

モーションディテクター機能 (MODE1) の詳細設定を行う

モーションディテクター (MODE1) の感度レベルや検出範囲などを設定します。マスク設定を行う場合、画揺れ補正「STABILIZER」を「OFF」に設定してください。(☞50ページ)

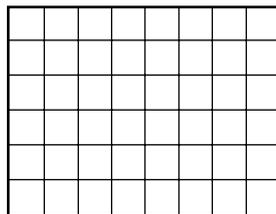
「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID      OFF`1
ALC            ALC`1
SHUTTER        OFF
AGC            ON(HIGH)
SENS UP        OFF
SYNC           INT
WHITE BAL      ATW1`1
MOTION DET     OFF`1
DNR            HIGH
RESOLUTION     HIGH
BW MODE`1
```

「MODE1」画面

```
**MODE1**
LEVEL          ...|..128
               -   +
DWELL TIME     2S
DISPLAY MODE`1
ALARM          OFF
MASK SET`1
RET TOP END
```

マスク設定画面



STEP1

「MOTION DET」を「MODE1」に設定し、設定ボタンを押します。
→「MODE1」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押します。
→マスク設定画面が表示されます。

STEP3

マスクをかけます。操作手順はSUPER-DⅢ機能を設定する場合のマスクの設定しかたと同じです。34ページをお読みください。

STEP4

マスクの設定が完了したら、設定ボタンを約2秒以上押し続けます。
→「MODE1」画面に戻ります。

STEP5

カーソルを「ALARM」に合わせ、デモモード時にアラーム信号を送出するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。

ON：デモモード時にアラーム信号を出力し、動きを感知したときの動作をデモモードで確認できます。

OFF（お買い上げ時）
：デモモード時にアラーム信号を出力しません。

STEP6

カーソルを「DISPLAY MODE」に合わせ、設定ボタンを押します。
→デモモードが実行され、輝度変化を検出したブロックが点滅表示されます。

STEP7

設定ボタンを押します。
→デモモードが終了し、「MODE1」画面に戻ります。

STEP8

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して検出感度レベルを調整します。「+」方向に動かすと感度が上がり、「-」方向に動かすと感度が下がります。
STEP6～8を繰り返して、最適なレベルに設定します。

STEP9

カーソルを「DWELL TIME」に合わせ、アラーム検出の間引き時間を以下から設定します。
2S（お買い上げ時）／5S／10S／30S（S：秒）
アラームの間引き時間を設定すると、アラーム検出後、設定時間が経過するまでは次のアラームが検出されなくなります。

!! 重要 !!

- 風に揺れるカーテンなどを検出する場合は、マスク設定により検出エリアから除外してください。
- 低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度 (LEVEL) を下げてください。また、車のヘッドライトや照明の ON/OFF などにより被写体の照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
- 本機で映像の変化 (動き) を検出してから、VTR などのアラーム端子に信号が送られるまでに約 0.2 秒の遅れがあります。また、設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません。(ただし、デモモードで「ALARM」を ON にしているときは除きます)
- モーションディテクター機能を「ON」にすると、ブランキング期間にアラームデータを出力するため、VTR のタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信をしないときは、モーションディテクター機能を「OFF」にしてください。
- モーションディテクター機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。

⑨ デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR]

デジタルノイズリダクション機能を設定すると、低照度で自動的にノイズを低減します。ここではノイズリダクション効果のレベルを設定します。

LOW : ノイズ低減効果小 (残像小)

HIGH (お買い上げ時) : ノイズ低減効果大 (残像大)

⑩ 映像の解像度を設定する [RESOLUTION]

カメラ映像の解像度を以下から設定します。

NORMAL : 水平解像度を 480TV 本以上に設定します。

HIGH (お買い上げ時) : 水平解像度を 540TV 本 typ. に設定します。

メモ

「HIGH」に設定した場合、低照度で電子感度アップ機能「SENS UP」が動作すると、ノイズが増える場合があります。

⑪ 白黒モードの各種設定を行う [BW MODE]

白黒モードに関する各種設定を行います。

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

「BW MODE」画面

「BW MODE」画面

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID  OFF ↴
ALC/ELC    ALC ↴
SHUTTER    OFF
AGC        ON (HIGH)
SENS UP    OFF
SYNC       INT
WHITE BAL  ATW1 ↴
MOTION DET OFF
DNR        HIGH
RESOLUTION HIGH
BW MODE ↴
```

```
**BW MODE**
BW          OFF
BURST (BW) ON
RET TOP END
```

```
**BW MODE**
BW          AUTO1
LEVEL       HIGH
DURATION TIME |...
              S L
BURST (BW)  ON
RET TOP END
```

STEP1

「BW MODE」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「BW MODE」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「BW」に合わせ、画面の白黒制御を以下から設定します。

AUTO1：画面の明るさ（照度）により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り替えます。暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像になります。

AUTO2：夜間時に近赤外線的光源を使用する場合設定します。

ON：白黒映像を表示します。

OFF（お買い上げ時）

：カラー映像を表示します。

メモ

光源の判断は、CCD撮像素子の情報により簡易的に判断しているため、たえず動いている被写体や全画面が一定の色の場合にはうまく判断できない場合があります。

「AUTO2」に設定している場合、光源は波長が800 nm以上のものを使用してください。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

STEP3

カーソルを「LEVEL」に合わせ、カラー映像と白黒映像を切り替える明るさ（照度）のレベルを以下から設定します。

LOW : カメラの周囲の明るさ（照度）が約1 lx以下で白黒映像に切り替えます。

HIGH（お買い上げ時）
: カメラの周囲の明るさ（照度）が約5 lx以下で白黒映像に切り替えます。

STEP4

カーソルを「DURATION TIME」に合わせ、カラー映像と白黒映像を切り替えるまでの時間を以下から設定します。（お買い上げ時：30秒）

10秒－30秒－60秒－300秒
(S) (L)

STEP5

カーソルを「BURST (BW)」に合わせ、白黒映像時にバースト信号を出力するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。

ON（お買い上げ時）
: バースト信号を出力します。
OFF : バースト信号を出力しません。

メモ

- カラー映像と白黒映像の切り替え時、自動的にバックフォーカスを調整し、フォーカスずれを補正するよう設定することもできます。（P.51ページ）
- カメラ映像を白黒で表示する場合、モニターやVTRの種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない機器があります。このような機器を使用するときは「ON」に設定します。

⑫ プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE]

撮影場所（画面）の中に写したくない部分がある場合、その部分（プライバシーゾーン）だけを表示しないように設定します。

ON (1) : 灰色表示

ON (2) : モザイク表示

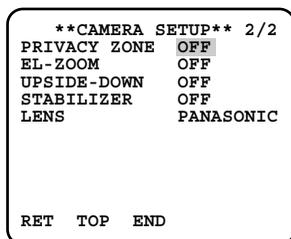
OFF（お買い上げ時） : 通常表示

プライバシーゾーンは8カ所まで設定できます。以下の手順に従って操作します。

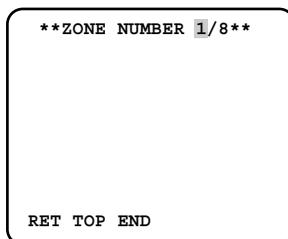
メモ

電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーンは動きません。

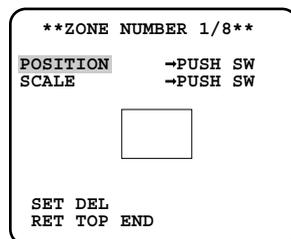
「CAMERA SETUP」画面



ゾーン番号選択画面



ゾーン設定画面



STEP1

「PRIVACY ZONE」にカーソルを合わせ、「ON (1)」または「ON (2)」に設定し、設定ボタンを押します。
→ゾーン番号選択画面が表示されます。

STEP2

カーソルが「ZONE NUMBER」右にある「1/8」の「1」にあることを確認し、左ボタンまたは右ボタンを押して、設定したいゾーン番号を設定します。ゾーン番号の右に「*」印がある

場合、そのゾーン番号にはすでにプライバシーゾーンが設定されていることをあらわしています。

STEP3

ゾーン番号を設定したら、設定ボタンを押します。
→ゾーン設定画面が表示されます。

メモ

- STEP3ですすでに設定済みのゾーン番号を選択した場合、ゾーン設定画面のゾーン枠内に設定されているゾーンの映像が表示さ

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

れます。STEP4、5の操作を行うと、設定されているゾーンは消去され、新しいゾーンが設定されます。

- ゾーンの設定を解除したい場合は「DEL」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。ゾーンの設定が解除されます。

STEP4

カーソルを「POSITION」に合わせ、設定ボタンを押します。

STEP5

上／下／左／右ボタンを押して、ゾーン位置を設定したい場所に調整し、設定ボタンを押します。
→ゾーン位置が決定します。

STEP6

カーソルを「SCALE」に合わせ、設定ボタンを押します。上／下／左／右ボタンを押して、ゾーン枠の大きさを設定します。上ボタン、下ボタンで縦方向の大きさを、左ボタン、右ボタンで横方向の大きさを調整します。設定したら、設定ボタンを押します。

STEP7

カーソルを「SET」に合わせ、設定ボタンを押します。
→ゾーンが設定され、ゾーン番号選択画面に戻ります。

⑬電子ズームを設定する [EL-ZOOM]

電子ズームを使用するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。「ON」に設定した場合は、ズームの倍率やパン・チルトを設定できます。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP** 2/2
PRIVACY ZONE OFF
EL-ZOOM OFF
UPSIDE-DOWN OFF
STABILIZER OFF
LENS PANASONIC

RET TOP END
```

「電子ズーム設定」画面

```
**EL-ZOOM**
PAN/TILT →PUSH SW
ZOOM →PUSH SW

RET TOP END
```

PAN/TILT設定画面

```
**EL-ZOOM**
PAN/TILT  →PUSH SW
ZOOM      →PUSH SW

U TILT D/L PAN R

RET TOP END
```

ZOOM設定画面

```
**EL-ZOOM**
PAN/TILT  →PUSH SW
ZOOM      →PUSH SW

U ZOOM D

RET TOP END
```

STEP1

「EL-ZOOM」にカーソルを合わせ、「ON」または「OFF」を設定し、設定ボタンを押します。

→「ON」に設定した場合、電子ズーム設定画面が表示されます。

ON：電子ズームを使用します。
(→STEP2へ)

OFF (お買い上げ時)

：電子ズームを使用しません。

STEP2

カーソルを「ZOOM」の「PUSH SW」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ZOOM設定画面が表示されます。

STEP3

上ボタンまたは下ボタンで電子ズームの倍率(最大2倍)を変更して画角を調整し、設定ボタンを押します。

メモ

電子ズームの倍率を上げると解像度が低下します。

STEP4

カーソルを「PAN/TILT」の「PUSH SW」に合わせ、設定ボタンを押します。

→PAN/TILT設定画面が表示されます。

STEP5

上/下/左/右ボタンを押して映像の位置を設定し、設定ボタンを押します。

位置は、ZOOM設定画面で設定した倍率の範囲内で変更できます。

メモ

お買い上げ時の設定に戻すときは、設定画面が表示された状態で左ボタン、右ボタンを同時に約2秒間押し続けます。

⑭映像を上下(左右)反転表示する [UPSIDE-DOWN]

カメラの映像を上下(左右)反転表示するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。カメラの設置場所(使用環境)に応じて設定してください。

ON : カメラの映像を上下(左右)反転表示します。
OFF (お買い上げ時) : 上下(左右)反転表示しません。

⑮画揺れを補正する [STABILIZER]

カメラレンズの画揺れ補正を行うかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。カメラを電柱やポールに設置した場合などに有効な機能です。

ON : 画揺れを軽減します。
OFF (お買い上げ時) : 画揺れ補正を行いません。

!!重要!!

- 「ON」に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。「ON」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角、解像度を確認してください。
- 以下の被写体に対しては、画揺れ補正が効かない場合があります。
 - ・ 暗い被写体
 - ・ 明暗差のない被写体 (白い壁など)
 - ・ 機械的振動などの速い周期の画揺れ
 - ・ 振幅の大きい画揺れ

⑯ピントを自動で補正する [LENS]

通常は「PANASONIC」で使用してください。

バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS]

バックフォーカスの調整方法の設定と微調整を行います。トップ画面から「BACK-FOCUS SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは29、30ページをお読みください。バックフォーカスを調整する前にレンズの調整を先に行ってください (P24ページ)。

<バックフォーカス調整について>

- レンズから撮像焦点までの距離を変えることにより、バックフォーカスの調整を行います。

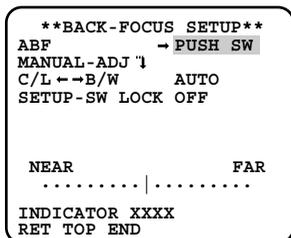
!!重要!!

- オートバックフォーカスは設置時のバックフォーカス調整および設置後のカラー／白黒切替時のフォーカス補正用です。オートフォーカス機能のような連続動作を想定した機能ではありません。
- レンズおよび設置環境の経年変化や周囲の温度変化などによってフォーカスずれが生じた場合、再度バックフォーカスの調整が必要です。

メモ

バックフォーカスの調整は、操作ボタンを使って行うこともできます。

「BACK-FOCUS SETUP」画面



メモ

- 「ABF」は「SENS UP」が「OFF」「X2 AUTO」「X2 FIX」の設定時に使用できます。
- 「C/L ←→ B/W」の「AUTO」は「SENS UP」が「OFF」「X2 AUTO」「X2 FIX」の設定時に使用できます。
- 低照度時、ABFを起動すると、ノイズが発生することがあります。

STEP1

「ABF」の「PUSH SW」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
→ オートバックフォーカスが働き、画面の中心領域の被写体に自動でバックフォーカスを調整します。

STEP2

バックフォーカスを微調整したい場合は、「MANUAL-ADJ」にカーソルを合わせ設定ボタンを押した後、左ボタンまたは右ボタンを押すと、バックフォーカスを手動で調整できます。

バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS] (つづき)

メモ

- 左ボタンと右ボタンを同時に約2秒間押すと、バックフォーカスの位置はお買い上げ時の状態に戻ります。
- 「INDICATOR」の数値はバックフォーカスを調整するときの目安です。数値が大きいほど、シャープな映像になります。

STEP3

「C/L↔B/W」にカーソルを合わせ、バックフォーカスの調整方法を以下から設定します。

AUTO (お買い上げ時)

：カラー映像と白黒映像の切り替え時、自動的にバックフォーカスを調整し、フォーカスずれを補正します。

PRESET：カラー映像と白黒映像の切り替え時、それぞれ設定したバックフォーカスの位置にプリセット移動します。プリセット位置はカラー映像や白黒映像で、最後に設定したバックフォーカスの位置が自動的に記憶されます。

FIX：自動 (ABF) または手動でバックフォーカスを調整後、位置を固定します。

STEP4

「SETUP-SW LOCK」にカーソルを合わせ「ON」に設定すると、操作ボタンでバックフォーカスを調整できなくするよう設定できます。

!!重要!!

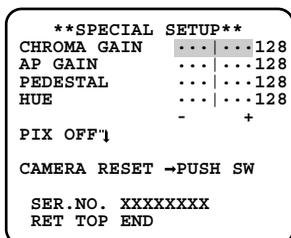
- 被写体によってバックフォーカスを以下のように設定してください。

こんなときは (被写体条件)	こうしましょう (推奨設定)	
	バックフォーカス調整	「C/L↔B/W」切替設定
・ 標準的な被写体	「ABF」	「AUTO」
・ 動きが多い ・ 照度変化が大きい ・ 低照度 ・ 極端に明るかったり反射する ・ 窓越し ・ レンズが汚れやすい場所 ・ 白壁など明暗が少ない ・ 深い奥行きを持つ ・ ちらつきが激しい ・ シャッターのような平行した横方向線のみ	「ABF」後に 「MANUAL-ADJ」で 微調整または 「MANUAL-ADJ」	「PRESET」または 「FIX」

- 弊社はバックフォーカス機能の諸設定、あるいはその結果で被る不便、損害、被害に関して一切の責任を負わないものとします。

特別メニューの設定を行う [SPECIAL]

カメラの画質に関する設定など、特別メニューの設定を行います。トップ画面から「SPECIAL SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは29、30ページをお読みください。



クロマレベル（色の濃さ）を調整する [CHROMA GAIN]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色の濃さを調整します。「+」方向に動かすと色が濃くなり、「-」方向に動かすと色が薄くなります。

アパーチャーレベルを調整する [AP GAIN]

左ボタンまたは右ボタンを押して、画質を調整します。「+」方向に動かすとシャープな映像に、「-」方向に動かすとソフトな映像になります。

メモ

絨毯やカーテンなどの細かい模様のを撮影すると、モアレ（干渉縞）が出ることがあります。その場合、「-」方向に動かすと緩和されます。

ペDESTALレベル（明るさ）を調整する [PEDESTAL]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の明るさを調整します。「+」方向に動かすと明るい映像に、「-」方向に動かすと暗い映像になります。

クロマ位相レベル (色合い) を調整する [HUE]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色合いを調整します。

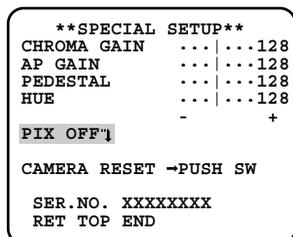


「CHROMA GAIN」「AP GAIN」「PEDESTAL」「HUE」の設定値は、左ボタンと右ボタンを同時に約2秒間押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

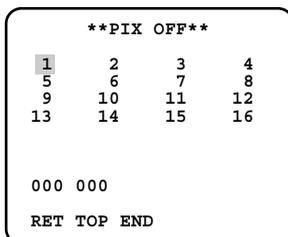
傷を補正する [PIX OFF]

カメラ映像内の傷を補正します。16か所まで補正できます。以下の手順に従って操作します。

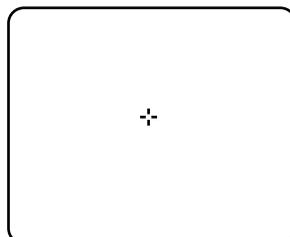
「SPECIAL SETUP」画面



「PIX OFF」画面



傷補正位置設定画面



STEP1

「PIX OFF」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「PIX OFF」画面が表示されます。

STEP2

傷補正位置を登録する番号 (1~16) を選択し、設定ボタンを押します。

→ 傷補正位置設定画面が表示されます。

STEP3

上/下/左/右ボタンを押して、補正したい傷の中心位置に十字カーソルを移動し、設定ボタンを押します。
→ 傷が補正され、傷補正位置が登録されます。「PIX OFF」画面に戻ります。登録されると、数字の右に「*」印が表示されます。座標が数字で表示されます。

お買い上げ時の設定内容に戻す [CAMERA RESET]

SETUPメニューの設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。

カーソルを「CAMERA RESET」の「PUSH SW」に合わせ、左ボタン+設定ボタン+右ボタン同時に約2秒間押し続けると、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

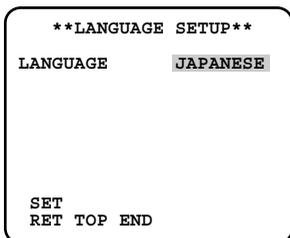
シリアルナンバーを確認する [SER.NO.]

本機のシリアルナンバーが表示されます。

言語を設定する [LANGUAGE]

SETUPメニューの言語を以下から設定します。トップ画面から「LANGUAGE SETUP」画面を表示して設定を行います。

JAPANESE (日本語) (お買い上げ時) / ENGLISH (英語) / FRANÇAIS (フランス語) / ESPAÑOL (スペイン語) / DEUTSCH (ドイツ語) / ITALIANO (イタリア語) / РУССКИЙ (ロシア語) / CHINESE (中国語)



言語を切り替える場合は、左ボタンまたは右ボタンで言語を選択した後、「SET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押してください。

メモ

- 言語を切り替えた場合、設定されているカメラタイトルはクリアされます。
- カメラタイトルは、日本語設定の場合のみカタカナを入力できます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">●電源ケーブル／同軸ケーブルが正しく接続されていますか？ →接続されているか確認してください。	22
	<ul style="list-style-type: none">●モニター輝度の調整、コントラスト調整は正しくされていますか？ →モニターを確認してください。	—
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none">●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ →カメラのレンズを確認してください。	—
	<ul style="list-style-type: none">●フォーカスは正しく調整されていますか？ →フォーカス調整を確認してください。	24

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
電源コードの被ふくが傷んでいる	<ul style="list-style-type: none">●電源コードが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると感電や火災の原因になります。直ちにカメラの電源を切ってお買い上げの販売店に修理を依頼してください。	—
使用中、電源コードの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ゆるくなったりする		

仕様

電源	AC 24 V 50 Hz/60 Hz 5.3 W (カメラ単体使用時) 11 W (ヒーターユニット使用時) DC12 V 430 mA (カメラ単体使用時) 470 mA (ヒーターユニット搭載時) * *DC12 Vでは、ヒーターユニットは使用できません。
撮像素子	1/3型 インターライン転送方式CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V)
走査面積	4.8 mm (H) × 3.6 mm (V)
走査方式	2:1インターレース
走査周波数	水平: 15.734 kHz 垂直: 59.94 Hz
解像度	水平: 570 TV本以上 (白黒モード)、 540 TV本typ.、520 TV本以上 (カラーモード、RESOLUTION: HIGH時) 垂直: 350 TV本以上 (中心部)
最低照度	スモークドーム使用時 白黒モード: 0.16 lx (F1.4 WIDE端) カラーモード: 1.5 lx (F1.4 WIDE端) クリアドーム (別売り) 使用時 白黒モード: 0.08 lx (F1.4 WIDE端) カラーモード: 0.6 lx (F1.4 WIDE端)
S/N	50 dB (AGC OFF時)
ダイナミックレンジ	52 dB typ.
映像出力	VBS 1.0 V[P-P]/75 Ω (BNCプラグ)
機能 カメラタイトル	最大16文字表示 (アルファベット、カタカナ、 数字、記号)
光量制御	ALC
SUPER-D	ON/OFF
電子シャッター	OFF (1/60)、1/100、1/250、1/500、 1/1 000、1/2 000、1/4 000、1/10 000
AGC	ON (HIGH/MID/LOW) /OFF
電子感度アップ	OFF, X2 AUTO, X4 AUTO, X6 AUTO, X10 AUTO X2 FIX, X4 FIX, X6 FIX, X10 FIX, X16 FIX, X32 FIX
同期方式	INT (内部同期)、VD2、 LL* (電源同期: 60 Hz地域専用) ※位相調整可能
ホワイトバランス	ATW1/ATW2/AWC
モーションディテクター	MODE1/MODE2/OFF

仕様 (つづき)

DNR	LOW/HIGH
解像度	NORMAL/HIGH
カラー/白黒切替	AUTO1/AUTO2/ON/OFF
プライバシーゾーン	ON (1/2) /OFF
電子ズーム	ON/OFF
映像反転表示	ON/OFF
画揺れ補正	ON/OFF
レンズ	PANASONIC/OTHER
バックフォーカス	ABF、MANUAL、AUTO/PRESET/FIX
特別設定メニュー	CHROMA GAIN,AP GAIN,PEDESTAL,HUE,PIX OFF
レンズ部	
タイプ	2倍バリフォーカルレンズ
焦点距離 (f)	3.8 mm~8.0 mm
最大口径比 (F)	1:1.4 (WIDE) ~1:1.8 (TELE)
フォーカス範囲	∞~1.2 m
画角	水平：35.6° (TELE) ~73.6° (WIDE) 垂直：26.6° (TELE) ~53.4° (WIDE)
調整角度	水平 (PAN) 角：±175° 垂直 (TILT) 角：±75° 傾き角：±160°
使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃ ヒーターユニット (別売り) 使用時： -30℃ ~ +50℃
使用湿度範囲	90%以下 (結露しないこと)
防水性	カメラ部：IP66防暴噴流形 (IEC60529) /JIS6 等級耐水形 (JIS C 0902) ※ただし、本書に定める設置工事が正しく行われ、 かつ適切な防水処理が行われた場合のみ。
寸法	約φ154 mm 高さ 約141.2 mm
質量	本体：約 1.3 kg 付属品 (アタッチメント)： 約100 g
仕上げ	本体：アルミダイカスト 新OAアイボリー色 (マンセル5.5Y 7.5/0.3近似色) ドーム部：スモークポリカーボネート樹脂

※_はお買い上げ時の設定です。

●別売品

クリアドームカバー	WV-CW4C	質量：約110 g
ヒーターユニット	WV-CW4H	質量：約40 g
取付金具	WV-Q114	質量：約470 g

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

57、58ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

保証とアフターサービス (つづき)

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	カラーテレビカメラ
品番	WV-CW484F
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	WV-CW484F
販売店名	電話 () -		

松下電器産業株式会社

パナソニック システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話 フリーダイヤル 0120-878-410